

「えんぴつロード」から「町の風景」 について思うこと

大井立会町会

私は、立会町会に生まれ育って56年になります。人生の半分を過ぎて、この町の風景について振り返ると思い出されるのは、店先で呼び込みをするお兄さんの景気の良い声、何を造っているかわからない工場の軒下に沢山落ちていたビー玉の鈍い空色、



えんぴつロード

駄菓子屋のおばちゃんのまるい背中。

それらは、人々の生活の中から滲みでた匂いのような風景でした。これが蓋をしたように失われたてしまった今、町の風景はどうなってし

まうのでしょうか。

三菱鉛筆本社屋東側の新名所「えんぴつロード」は、鉛筆製造の6工程を表現した「えんぴつベンチ」によって創業の精神を形として残すと共に、地域の人々の憩いの場になっ



えんぴつベンチ

てほしいという思いから整備されたということです。企業の誇りと地元愛の心が結晶したもの、と言えるでしょう。

私の残りの半生にあるべき町の風景の一つがここにあると思います。きっと、将来年老いた私は、土台に苔むした「えんぴつベンチ」に腰かけ、人々の町への思いを感じながら、咲き誇る桜を眺めていることでしょう。（児玉俊也）

大森駅前住宅の夏の風景

大森駅前住宅自治会

7月下旬から8月上旬の一時をご紹介します。

7月26日に「ゆうゆう茶話会」が40数名の参加で開かれました。今回はマンドリンアンサンブル「マリーゴールド」さんをお招きし、マンドリン演奏。伴奏に合わせ、なつかしい「いつでも夢を・君といつまでも・ふるさと」等、8曲を大合唱。その後いつもの様においしいお菓子とおしゃべりで楽しい2時間を過ごしました。

「ゆうゆう茶話会」は参加自由で近隣町会の方も交えて、習字・手芸・囲碁・体操・麻雀も行い月7回開いています。

7月29日に高齢者クラブ五月会のうどん大会が40数名の参加で開かれました。

前日から粉にまみれての生地作り、当日は麺棒で伸ばし、切り、茹で、洗い、おいしい具材を乗せて完成。皆さん美味しく頂き御代わりの声、満腹大満足のお昼でした。

8月1日～10日の10日間大井坂下公園に於いて当自治会と大井坂下町会さんと共催でラジオ体操を実施しました。述べ参加人数約500名の老若男女、午前6時25分の集合時は皆さん眠そうな様子でしたが、終了時は目もパッチリシャンとした良い姿勢になり、今日も頑張るぞでした。

今年は台風の影響もありましたが無事10日間ラジオ体操ができました。大井坂下町会さん来年もよろしくお願いします。皆さんの参加をお待ちしています。

（角田順一）

